長野	的上某局。	等専門学校	交 ほ	開講年度	半成31	L牛 <u>塻</u> (∠	2019年度))	授業科目	英語IA		
科目基	礎情報											
<u> </u>		0008					科目区分		一般/』	 >>。 >>。		
授業形態							単位の種別と単位数 履修単位					
開設学科		一般科					対象学年			1		
開設期 前期							週時間数			2		
						させきナノスフィ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
	湯/教材 演習プリント(毎回配布)挫折しない英文法(気						<u> </u>					
担当教員		高桑 沿	Ē]									
到達目	標											
りだすこ	ことで(F2)の	いるそれぞ)達成とする	れの文構造	告が理解で a	き, さらに	その文法	項目を使用し	ノて基本的	りなコミュニ	ケーションに必要 	となる簡単な文を作 	
ルーフ	<u>゙リック</u>											
				的な到達レ			標準的な到			未到達レベル	の目安	
評価項目1			英文	文法を理解し、その文法が入った 英文を、正しい単語を用いて書く ことができる.			文法を理解し、その文法が入っ、 英文を、単語がいくらか間違っいても、書くことができる.			 文法を理解しが入った英文い.	ておらず, その文法 を書くことができな	
評価項目2			文法 英文	文法を理解し、その文法が入った 英文を,正しい単語を用いて読む ことができる。			文法を理解し、その文法が入った 英文を、単語がいくらかわからた くても、読むことができる。		・ 文法を理解し	ておらず, その文法 を読むことができな		
評価項目3			文法	文法を理解し、その文法が入った 英文を含む文章を読むことができ			文法を理解し、その文法が入った 英文を含む文章を、単語がいくら かわからなくても、読むことがで きる。		こ 文法を理解し が入った英文 とができない	ておらず, その文法 を含む文章を読むこ ・		
――――	찌추다튬	15ロレの	BB /変				୯୪.					
	到達目標	坦日 との	送()									
教育方:	法等											
概要		12. 理解	去が理解で 解した文法 解した文法	きる 知識を使っ 知識を使っ	て文を書にて文を読ん	ける. める						
授業の進	 Éめ方・方法						 解の演習を行	 う				
主意点		る. オフィ 毎週月	定期試験 <i>の</i> スアワー 曜日 16:0	00-17:00 -	-般科棟 1	F 東		c者を, F	2 を達成し	たものとして,こ	の科目の合格者とす	
注意点		2回の る. オフィ 毎週月 この時	定期試験 <i>の</i> スアワー 曜日 16:0 間にとられ	D成績で評値 00-17:00 - Oれず必要に 吾IIAである	-般科棟 1 :応じて来	F 東		さ者を, F	₹-2 を達成し	たものとして,こ	の科目の合格者とす	
	画	2回の る. オフィ 毎週月 この時	定期試験 <i>の</i> スアワー 曜日 16:0 間にとられ)0-17:00 - つれず必要に	-般科棟 1 :応じて来	F 東		さ者を, F	₹-2 を達成し	たものとして,こ	の科目の合格者とす	
	画	2回の る. オフィ 毎週月 この時	定期試験 <i>0</i> スアワー 曜日 16:0 間にとられ 目は,英語	00-17:00 - つれず必要に 吾IIAである	-般科棟 1 :応じて来	F 東			F-2 を達成し ごとの到達目		の科目の合格者とす	
	画	2回の オフィ 毎週の 後修科	定期試験の スアワー 曜日 16:0間にとられ 目は,英語 授業内別	00-17:00 - つれず必要に 吾IIAである	-般科棟 1 :応じて来	F東		週。	ごとの到達目		の科目の合格者とす	
	画	2回の オフィ月 毎週 後修科 週 1週	定期試験の スアワー 曜日 16:0 間にとられ 目は,英調 授業内容 be動詞	00-17:00 - Oれず必要に 語IIAである <u>容</u> と一般動詞	-般科棟 1 :応じて来	F東		週。 be	ごとの到達目 動詞の要・7	標 要を区別できる.	の科目の合格者とす	
	画	2回の オカリス 1月	定期試験の スアワー (TE) 16:0 間にとられ 目は,英語 授業内犯 be動詞 5文型(1)	00-17:00 - つれず必要に 番IIAである 容 と一般動詞 1)	-般科棟 1 :応じて来	F東		週。 be	ごとの到達目 動詞の要・7 (型を理解す	標 ・要を区別できる. る.		
	画	2回の オカリンス イカリンス イカリンの 後修科 1週 2週 3週	定期試験の スアワー で日16:0 間にとられ 目は,英語 授業内容 be動型(5 5文型(2	00-17:00 - つれず必要に 番IIAである <u>容</u> と一般動詞 1)	-般科棟 1 :応じて来	F東		週。 be 5次 5次	ごとの到達目 動詞の要・7 2型を理解す 2型を使い分	標 要を区別できる. る. けて文を書くこと;	ができる.	
	画 lstQ	2回の オ毎こ 後修科 週 1週 2週 3週 4週	定期試験の スアワー 曜日 16:06 目は、英語 授業内容 5文型(2 関係詞(2)	00-17:00 - つれず必要に 番IIAである <u>容</u> と一般動詞 1) 2)	-般科棟 1 :応じて来	F東		週 be 5次 5次	ごとの到達目 動詞の要・7 (型を理解する (型を使い分) (系代名詞・関	標 要を区別できる. る. けて文を書くこと 係副詞を理解する	ができる. 	
		2回の オ毎こ 後修 週 1週 2週 3週 4週 5週	定期試験の スアワー 16:06 間にとられ 目は、英語 授業動詞 5文里(2 関係詞(00-17:00 - つれず必要に 吾IIAである <u>容</u> と一般動詞 1) 2) (1)	-般科棟 1 :応じて来	F東		週。 be 5交 5次 関(ごとの到達目 動詞の要・イ (型を理解す (型を使い分) 系代名詞・関 (系代名詞を使	標 ・要を区別できる. る. けて文を書くこと ・ 「係副詞を理解する 「って文を書くこと	ができる. ができる.	
		2回 . 7月時 科 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	定期試験の スアワー 16:06 日は、英語 日は、英語 りを動詞 5文 (保語) (関係系詞) (対策) (対策) (対策) (対策) (対策) (対策) (対策) (対策	00-17:00 - つれず必要に 番IIAである <u>と一般動詞</u> 1) 2) (1) (2) (3)	-般科棟 1 :応じて来	F東		週。 be 5次 5次 関(ごとの到達目動詞の要・7 型を理解する 型を使い分 系代名詞・関 系代名詞を使 系副詞を使っ	標 要を区別できる. る. けて文を書くこと; 係副詞を理解する って文を書くことが て文を書くことが	ができる. ができる. できる.	
		2回の オ毎こ 後 修 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	定期試験の スプロー 16:06 スプローとられ 間にという 目は、英調 授工動詞 5文型(2 関関係原詞(関係原詞(時制(1)	00-17:00 - つれず必要に 番IIAである <u>容</u> と一般動詞 1) 2) (1) (2) (3)	-般科棟 1 :応じて来	F東		週。 be 5次 5次 関例 関例	ごとの到達目動詞の要・イス型を理解する 型を理解する 型を使い分 系代名詞・関係 系代名詞を使い 系副詞を使っ 在・過去・現	標 要を区別できる. る. けて文を書くことが 係副詞を理解する って文を書くことが て文を書くことが 在完了・未来の各	ができる. ができる. :できる. 時制を理解する.	
		2回の オ毎こ 後 修 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	定期試験の ス曜間にという ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 ファローとのでは、英語 ファローとのでは、英語 ファローとのでは、英語 ファローとのでは、英語 ファローとのでは、英語 ファローとのでは、英語 ファローとのでは、ファーとのでは、フ	00-17:00 - つれず必要に 番IIAである <u>容</u> と一般動詞 1) 2) (1) (2) (3)	-般科棟 1 :応じて来	F東		週 be 5次 5次 関例 関例 現 現	ごとの到達目動詞の要・イ 型を理解する 型を使い分に 系代名詞・関 系代名詞を使つ 系代副詞を使つ 生・過去・現 習の文法を使	標 要を区別できる. る. けて文を書くことだ につて文を書くことが で文を書くことが た完了・未来の各	ができる. ができる. できる. 時制を理解する. ができる.	
		2回 .	定期試験の ス曜間 目 ア日には、 授動型(2 関関制期に 5文係係係例 関関制期に 節	00-17:00 - つれず必要に 番IIAである <u>各 と一般動詞</u> 1) 2) (1) (2) (3))	-般科棟 1 :応じて来	F東		週。 be 5次 5次 関例 関列 現记 既記 the	ごとの到達目 動詞の要・イ 型を理解する 型を使い分に 系代名詞を使い 系代名詞を使っ 系副詞を使っ ない過去・現 習の文法を使っ なけいがある。	標 要を区別できる. けて文を書くこと 係副詞を理解する って文を書くことが 在完了・未来の各 って文を書くこと で文を書くこと	ができるができるできる・ 時制を理解するができるができる.	
受業計		2回の オ毎こ 後 修 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	定期試験の ス曜間にという ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 を取ります。 ファローとのでは、英語 ファローとのでは、英語 ファローとのでは、英語 ファローとのでは、英語 ファローとのでは、英語 ファローとのでは、英語 ファローとのでは、英語 ファローとのでは、ファーとのでは、フ	00-17:00 - つれず必要に 番IIAである <u>各 と一般動詞</u> 1) 2) (1) (2) (3))	-般科棟 1 :応じて来	F東		週。 be 5次 5次 関/ 関便 現 現 tha	ごとの到達目動詞の要・イ 型を理解する 型を使い分(系代名詞を使 系代名詞を使う 系での文法を使っ ないがでする。 はいかでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	標 要を区別できる. よて文を書くこと。 は不文を書くことだって文を書くことが 在完了・未来の各 たって文を書くことだって文を書くことだって文を書くことだって文を書くことが	ができる ができる できる. 時制を理解する. ができる. くことができる. ごさる.	
授業計		2回 .	定期試験の ス曜間 目 フア日には、英 りを文 りを文 りを りを りを りを りを りを りを りを りを りを りで りで りで りで りで りで りで りで りで りで りで りで りで	00-17:00 - つれず必要に 番IIAである <u>各 と一般動詞</u> 1) 2) (1) (2) (3))	- 般科棟 1	F 東 室してく;		週 be 5 5 5 関 関 関 現 th 分 治 絶 き	ごとの到達目動詞の要・オ 型を理解する 型を理い分(系代名詞を使い 系代名詞を使っ現 な型がいいでは ないないでは は節文を使って は関するでも は関するでも はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる	標 要を区別できる. けて文を書くことが (休副詞を理解する して文を書くことが 在完了・未来の各 して文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが	ができるができるできる時制を理解するができる. くことができる. くことができる. 、文章を読むことができる.	
授業計	1stQ	2回の	定期試験の ス曜間 目 フア日には、英 りを文 りを文 りを文 りを りを りを りを りを りを りを りを りを りで りで りで りで りで りで りで りで りで りで りで りで りで	00-17:00 - つれず必要の 番IIAである 容 と一般動詞 1) 2) (1) (2) (3)) 間試験	-般科棟 1 二応じて来 ・ Estinct Sp	F 東 室してく;		週 be 55 55 関 関 関 現 氏 氏 氏 の に た に た に に に に に に に に に に に に に	ごとの到達目 動詞の要・オ 型を理を使い分(系代名詞を主・のの 系代名詞を去・のの 所属動のではでいる。 は間動かではでいる。 は同域ができる。 は同域ができる。 は同域ができる。 は同域ができる。 は同域ができる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はい	標 要を区別できる. かて文を書くことが につて文を書くことが 在完了・未来の各 で文を書くことが 在完て文を書くことが 在完て文を書くことが を理解し,文を書く て文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが できる	ができるができるできる時制を理解するができるくことができるできる文章を読むことができができ、かつそれを	
注意点 授 業 計		200 7月時科 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	定期試験の ス曜間 目は、 アローと 英語 関連	00-17:00 - つれず必要の 番IIAである 容 と一般動詞 1) 2) (1) (2) (3)) 間試験 文 gered and	-般科棟 1 二応じて来 ・ Estinct Sp	F 東 室してく;		週 be 5以 5以 関 関 関 現 既 tha 分 総 き 超書 大	ごとの到達目 動詞の要・オ 型を理を使い分(系代名詞を主・のの 系代名詞を去・のの 所属動のではでいる。 は間動かではでいる。 は同域ができる。 は同域ができる。 は同域ができる。 は同域ができる。 は同域ができる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はい	標 要を区別できる. かて文を書くことが につて文を書くことが 在完了・未来の各 で文を書くことが 在完て文を書くことが 在完て文を書くことが を理解し,文を書く て文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが できる	ができるができるできる・時制を理解するができる. くことができる. 、ごとができる. 、ごとができる. 、文章を読むことがで	
授業計	1stQ	20 7月時科 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	定期試験の ス曜間 目は、 アローと 英語 関連	の0-17:00 - Ontず必要の Alia である Alia である Alia である Alia を Ali	-般科棟 1 二応じて来 ・ Estinct Sp	F 東 室してく;		週 be 55 55 関例 関列 現 既 tha 分 総き 超書 大 2 津 2 2	ごとの 到達 を型 を型 を名 にが にが にが にが にが にが にが にが にが にが	標を区別できる。 る。 けて文を書くことが 体副詞を理解する って文を書くことが 在完了・未来の各 って文を書くことが 在完了文を書くことが を理解し、文を書く で文を書くことが できる。 で文を読むことができる。 章を読むことがで 章を読むことがで	ができる	
授業計	1stQ	2000 才每2 後 過 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	定期試験の ス曜間目は、 アロには、英 りを文文には、 を動型(1) を対している。 を対している。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	800-17:00 - ODAで必要で ATTINである ATTINである ATTINCT ATTINCT ATT	-般科棟 1 二応じて来 ・ Estinct Sp	F 東 室してく;		週 be 5 5 5 5 関 関 関 現 既 tha 分 絶き 超書 大 こ 津 こ 微 く	ご動型を名 を型せ代代副・の節構動か導こにがにが子と のの理使に調査文・文物つ体と関で関でにが子と を名名詞過文・文物つ体と関で関でにが子と がまるるるるるるるるる。 を節でしてでいまさまで を節でしていまさまで を節でしていまさまで をでしていまさまで をでしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまする。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていなる。 でしてなる。 でしていな	標を区別できる。 る. けて文を書くことが 係副詞を理解する。 って文を書くことが 在完了・未書くことが 在完了文を書くことが で文を書くことが で対し、文を書く で文を書くことが で見動物に関する る、 で文を読むことが できる。 章を読むことがで 文章を読むことが で	ができるができるできる. 時制を理解する. ができる. くことができる. できる. 、できる. 、できる. 、できる. 、できる. 、文章を読むことができ、かつそれを書く。 、ができ、かつそれを書く。 、でき、かつそれを書く	
受業計	1stQ 2ndQ	2回の 才毎こ 後 週 1週 3週 3週 4週 3週 3月	定期試験の ス曜間目は、 アロには、英 りを文文には、 を動型(1) を対している。 を対している。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の0-17:00 - Ontず必要の A Section Property	-般科棟 1 二応じて来 ・ Estinct Sp	F 東 室してく;		週 be 5 5 5 5 関 関 関 現 既 tha 分 絶き 超書 大 こ 津 こ 微 く	ご動型を名 を型せ代代副・の節構動か導こにがにが子と のの理使に調査文・文物つ体と関で関でにが子と を名名詞過文・文物つ体と関で関でにが子と がまるるるるるるるるる。 を節でしてでいまさまで を節でしていまさまで を節でしていまさまで をでしていまさまで をでしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまする。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていなる。 でしてなる。 でしていな	標 要を区別できる. おこ文を書くことが かて文を書くことが で文を書くことが 在完了文を書くことが 在完了文を書くことが 在完了文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが で文を書くことが でないまる。 でででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。	ができるができるできる. 時制を理解する. ができる. くことができる. できる. 、できる. 、できる. 、できる. 、できる. 、文章を読むことができ、かつそれを書く。 、ができ、かつそれを書く。 、でき、かつそれを書く	
受業計	1stQ 2ndQ	2000 才每2 後 過 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	定期試験の ス曜間目は、 アロには、英 りを文文には、 を動型(1) を対している。 を対している。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	800-17:00 - ODAで必要で ATTINである ATTINである ATTINCT ATTINCT ATT	-般科棟 1 二応じて来 ・ Estinct Sp	F 東 室してく		週 be 5 5 5 5 関 関 関 現 既 tha 分 絶き 超書 大 こ 津 こ 微 く	ご動型を名 を型せ代代副・の節構動か導こにがにが子と のの理使に調査文・文物つ体と関で関でにが子と を名名詞過文・文物つ体と関で関でにが子と がまるるるるるるるるる。 を節でしてでいまさまで を節でしていまさまで を節でしていまさまで をでしていまさまで をでしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまさまで でしていまする。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていまなる。 でしていなる。 でしてなる。 でしていな	標を区別できる。 る. けて文を書くことが 係副詞を理解する。 って文を書くことが 在完了・未書くことが 在完了文を書くことが で文を書くことが で対し、文を書く で文を書くことが で見動物に関する る、 で文を読むことが できる。 章を読むことがで 文章を読むことが で	ができるができるできる. 時制を理解する. ができる. くことができる. できる. 、できる. 、できる. 、できる. 、できる. 、文章を読むことができ、かつそれを書く。 、ができ、かつそれを書く。 、でき、かつそれを書く	
授業計	1stQ 2ndQ	2000 才每2 後 過 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	定期試験の ス曜間目は、 アロには、英 りを文文には、 を動型(1) を対している。 を対している。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	800-17:00 - ODAで必要で ATTINである ATTINである ATTINCT ATTINCT ATT	一般科棟 1 二応じて来 ・ Estinct Sp	F 東 室してく	ださい.	週 be 5 5 5 5 関 関 関 現 既 tha 分 絶き 超書 大 こ 津 こ 微 く	ご動型を名名にいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	標を区別できる。 る. けて文を書くことが 係副詞を理解する。 って文を書くことが 在完了・未書くことが 在完了文を書くことが で文を書くことが で対し、文を書く で文を書くことが で見動物に関する る、 で文を読むことが できる。 章を読むことがで 文章を読むことが で	ができるができるできる. 時制を理解する. ができる. くことができる. できる. 、できる. 、できる. 、できる. 、できる. 、文章を読むことができる. 、でき、かつそれを書く。 、でき、かつそれを書く	